

2012年9月4日 1:55:55



香川大学

English

閉じる

印刷用ページ

■ 授業科目名	■ 科目区分	
プロゼミナール (山本) Pre-Seminar		
	■ 時間割コード	
■ 講義題目	333494	
	■ 年度	■ 時間割
	2012	後期 火5
■ 担当教員	■ 単位数	■ 教室
山本 裕[Yamamoto Yu]	2	
	■ 対象年次及び学科	
	2～2 経済学部	

■ 関連授業科目

日本社会経済史

■ 履修推奨科目

日本社会経済史

■ 学習時間

講義90分 × 15回 + 自学自習

■ 授業の概要

本科目の目的は、近現代日本の歴史を社会経済の観点から考察する点にあります。

比較的、学生諸君がこれまで学校教育において学んできた日本の歴史は、政治的領域が中心であり、知識等もそれら領域に偏る傾向があったように思われます。

政治的領域は重要であるが、これと密接に関連することも多い社会・経済の領域もまた重要です。経済学部の学生であるみなさんには、現状のみならず歴史的領域についても学んでほしいと思います。

■ 授業の目的

本科目の目的は近現代日本の歴史を社会経済の観点から再考する点にあります。

重要なことは、知識の習得が目標ではないということです。

文献において展開される記述が、ある歴史的対象について、どのような観点から接近した上で、述べられているかを理解する点に重きを置きます。

当然、同じ歴史的対象について、文献とは異なる観点から接近すれば、述べる内容もまた、異なるものとなるはずです。

本科目の履修を通じて身につけた学術的手法は、履修者諸君の3年次以降の演習・卒業論文執筆に役立つにとどまらず、社会人になってからも有益なものとなるでしょう。

本科目を受講し、受講者同士の議論を通じて、近現代日本の社会的経済的諸問題を歴史的にかつ広い視野から眺め直し、理解する点に、本科目の達成目標を置くこととします。

到達目標

- 1) 近現代日本の歴史を社会経済の観点から説明できる。
- 2) 近現代日本の社会経済領域で起きた出来事について、通説とは異なる観点から説明できる。
- 3) 近現代日本の社会経済領域で起きた出来事を題材に、議論できるようになる。

成績評価の方法と基準

レポート、出席回数、レポーター担当時の報告内容、講義における参加態度等により、総合的に評価します。

授業計画並びに授業及び学習の方法

指定した教科書の内容について、輪読を行います。

なお、輪読に際しては、毎回、複数人のレポーターにより、各章の内容を報告し、論点を提示してもらいます。

講義の最後には、リポーターを務めた回で取り扱った内容について、より広い観点からレポートを執筆してもらいます。ただし、履修者各自の問題関心がそれ以外にも存在した場合には、それも認めます。

- (1) ガイダンス
- (2) 文献探索方法について～ライブラリツアー～
- (3)～(14)文献輪読
- (15)本講義の小括

教科書・参考書等

武田晴人『新版 日本経済の事件簿―開国からバブル崩壊まで』(日本経済評論社、2009年、3000円＋TAX)。担当者が出版社から直接購入したものを頒布(販売)します。

オフィスアワー

水曜日6限・7限(ただし、事前にメール等もらえれば、適宜対応します)。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

欠席する場合は事前に連絡をお願いします。担当教員から出来るだけ多くのものを引き出すような、積極的な受講態度を期待します。

参照ホームページ

メールアドレス

yamamoto@ec.kagawa-u.ac.jp

閉じる

印刷用ページ

[↑ページの先頭へ戻る](#)